



続けてきた自分を誉めて

本日で1学期が終わります。

何ができるようになったかを考えることも大切ですが、何を続けることができたかも考えたいものです。

『継続は力なり』という言葉があり、「わずかなことでも、根気よく続ければ成果となってあらわれる」という意味です。

似た言葉に『雨垂れ石を穿つ』という言葉もあり、雨の雫が長い時間をかけて石に穴をあけるように、地道な努力を続けることの大切さを教えてくれます。

何を続けましたか？学校へ毎日通う、授業に参加する、クラブ活動に打ち込む、学級や学年活動に取り組む・・・、家庭や地域での習慣も含め、日常、何気なく、または苦勞して続けていることすべてが力となっています。まずは、何ができたかよりも先に、それを続けてきた自分を誉めてほしいと思います。

夏休みに入ります。いつもより自分で考えて過ごす時間が多く、その点では時間的な余裕があるかと思います。せっかくの機会ですので、この夏休みならではの何かを見つけ、その取組を続けてほしいと願います。2学期は修学旅行やトライやるウィーク、文化発表会など、多くの行事があります。また、3年生は特に、あと半年後には高校進学や就職など、勝負の時を迎えます。続けるなら、少し先を見て、または将来を見据えて、何か自分にとってプラスに働くような取組が望ましいです。

保護者の皆様、地域の皆様、1学期を終えるにあたり、多くのご支援・ご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。今年の夏もとても暑く、熱中症をはじめ水難事故は防ぎたいものです。また、開放的になりやすい時期でもあり、特にSNS上の危険な誘いに引き込まれ、取り返しのつかない状況に陥らないよう気をつけたいものです。安心・安全の中、様々な体験を通した良き学びの充電期間となり、2学期の良好なスタートにつながる夏休みになればいいと願います。この夏休みも引き続き、子どもたちの見守りが大切です。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



授業風景(美術)より

粘り強く続けられるというのは、すごい才能です。
継続できた自分に自信を持ってください。



8月の主な予定 9月の主な予定

- 11日(木)学校閉鎖(~17日)
- 22日(金)地藏盆
- 29日(金)始業式
- 1日(月)文化発表会オーディション(有志)
- 1日(月)課題テスト(1, 2年生)、実力テスト(3年生)(~2日)
- 3日(水)トライやるウィーク事前訪問(2年生)(昼~)
- 8日(月)トライやるウィーク(2年生)(~12日)
- 9日(火)修学旅行事前学習(3年生)
- 10日(水)修学旅行(3年生)(~12日)
- 25日(木)わくわくオーケストラ(1年生)

7/3 生徒総会 百折不撓(ひやくせつふとう)～何度もトライ!!～



学校生活における校則改善をはじめ、各学級からの意見や要望を集約しました。

出てきた意見や要望について、生徒会執行部が中心となり、先生たちと一緒に考えて、回答しました。現在の学校生活の状況を踏まえ、改善するかどうか保留のものもありますが、生徒が自分たちで学校を作っていくことは大切であり、この生徒総会のさらなる発展を期待します。本年度のテーマは、『百折不撓～何度もトライ!!』です。とても素敵なテーマを考えてくれました。日頃のみなさんの頑張りがよく反映しており、今後とも大切にしたい言葉です。



7/8 しおり作り(1年3組) マダガスカルの子どもたちと心をつなぐ



関西学院大学栗田研究会の学生は毎年、マダガスカルへ赴き、子どもたちの学びの支援を行っています。支援の一つとして、教科書や教材を届けており、その際、自分たちで作ったしおりも添えているとのこと。今回、このしおりを一緒に作ることになり、急遽、1年3組の生徒が手伝ってくれることになりました。貧困に直面しているマダガスカルの子どもの状況を知るとともに、一人一人の生徒が心を込めてしおりを作りました。しおりは2枚一組であり、片方はマダガスカルの子どもたちへ渡し、もう片方は本校の生徒が持ちます。住んでいる場所は遠く離れていますが、このしおりがともに学ぶ仲間として、お互いの心をつなぎ、学びに向かう一人一人の心の支えや意欲につながればいいなと感じます。



7/9 スタンドバイ(1年生) いじめを防ぐ学級をみんなで作る



スタンドバイのスタッフの方が講師となり、いじめ問題について考えました。「学級の中で配慮のない言動が目立つ生徒に対して、オンライン上で多くの級友が誹謗中傷を書き込む」という内容のいじめ動画を見て、どのようにすればよかったのかを考えました。

いじめを防ぐには、学級を構成する一人一人の力が必要です。日頃からの良好な人間関係づくりや、お互いの考えや意見を自由に発言できる雰囲気づくりが大切です。また、より良い方向へ話し合える力の育成が求められます。

楽しい学校をつくるには、楽しい学級をつくる必要があります。1学期を振り返り、みなさんの学級はどうでしたか。先生や家庭、地域の大人はみんな、生徒のみなさんの活動を支える応援団です。最終的に学校や学級を良くしていくのは主役である生徒のみなさん自身です。自分事として捉え、「決していじめは許さない」という強い意志を持って、日々の生活を送ってほしいと思います。

